

線親子セミナー」に参加されたリビング新聞編集長の川楠氏から「放射線学習で得たもの」と題して基調講演をされた。パネルディスカッションでは川楠氏、理科教諭の百瀬氏、フリーキャスターの八木氏のほか専門家として児玉教授が参加し、「くらしと放射線のこれから」をテーマに福島の実状などを交えて、マスコミ等の情報をどのように捉えるべきか、くらしに向き合っていくべきかを討論した。子育て層の女性が参加しやすいように、託児所が設けられ、4組6名の利用があった。

の取れたパネルになり見やすいように工夫された。放射線計測器を多く展示し、だれでも手にとることができるよう配慮されていた。希望者にはパネルのコピーや照射じゃがいもを配布し、帰宅後も放射線について理解できるよう配慮されていた。残念だったのは2日目と3日目が天候不順で、特に2日目はゲリラ豪雨と落雷があり、参加者数が大きく伸びなかった。そんな日でも参加していただいた来場者に感謝します。

(阿部 記)

放射線なっとく展示ではパネルが新調され、統一

第22回放射線利用総合シンポジウムと新年交流会のお知らせ

日時：平成25年1月21日(月) 午前9時40分～午後5時

会場：大阪大学中之島センター (大阪市北区中之島4-3-53)

プログラム

1. 福島原発事故に伴う被災家畜における放射性物質の体内分布
 ・ ・ ・ ・ ・ 東北大学加齢医学研究所 被災動物線量評価グループ 教授 福本 学
2. 低線量放射線の生体への影響と食の重要性～科学者として支援できることは何か
 ・ ・ ・ ルイ・パストゥール医学研究センター基礎研究部 インターフェロン・生体防御研究室室長 宇野賀津子
3. 震災を踏まえた中長期エネルギー需給構造のあり方と原子力の役割
 ・ ・ ・ ・ ・ エネルギー総合工学研究所プロジェクト試験研究部 主任研究員 都筑和泰
4. [ONSA 賞受賞講演] レーザープラズマ軟X線顕微鏡による細胞内小器官のその場観察
 ・ ・ ・ 日本原子力研究開発機構 量子ビーム技術研究ユニット・サブリーダー 加道雅孝
5. X線自由電子レーザーSACLAが拓くフォトンサイエンス
 ・ ・ ・ 理化学研究所播磨研究所 XFEL 研究開発部門グループディレクター 矢橋牧名
6. 電子線照射装置の利用分野
 ・ ・ ・ (株) NHVコーポレーション加速器事業部 技術部システムグループ主任 金澤保志
7. 質量の起源ヒッグスを追う
 ・ ・ ・ ・ ・ 大阪大学大学院理学研究科 准教授 花垣和則

要旨等は当協会ホームページに掲載されています。

講演会終了後、新年交流会を行います。ONSA会員、理事および参加は会費無料ですので是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。